

横浜合材工場で無料Wi-Fiサービス

NIPPOは19日、横浜合材工場（横浜市磯子区）の敷地内で無料の通信サービスの提供を開始する。工場に来たダンプトラックの運転手を対象に無料Wi-Fiの環境を提供。待機時間に接続してもらえば、独自の掲示板に必ずアクセスする仕組み。営業時間や販売品目など工場の基本情報を配信するほか、天気予報や交通情報などドライバーに有益な情報も発信する予定だ。独自サービスの提供を通じて、顧客満足のさらなる向上を目指す。

NIPPO

合材工場ではさまざまな種類の合材を製造するため、繁忙期や時間帯によってはダンプトラックの待機時間が1時間ほどになるケースもあるという。待機中、約9割の運転手がスマートフォンなどでインターネットにアクセスして順番待ちして、あることから、同社は横浜合材工場での情報サービスの提供を試行する。

導入したWi-Fiシステムは、簡単な初期登録を行えば、2回目以降は自動的にWi-Fiサービスに接続可能。通信事業者や端末・機器を問わずアクセスできる。

トップ画面となる掲示板「NIPPOかわらばん」では当面、製造・販売する合材の品目や、受け入れできない廃材の種類、工場の営業日・時間、商品のPR・告知などの情報を発信。さらに天気



NIPPOかわらばんの画面

ダンプ待機時間に情報発信

予報やニュース、交通情報などドライバー向けの情報も発信していく予定だ。

Wi-Fiシステムの管理などをファイバーゲート（東京都港区、猪又将哲社長）、コンテンツの編集などを企画編集社（東京都港区、東邦治社長）がそれぞれ担当している。

NIPPOは今後、横浜合材工場での活用状況などを分析し、全国の工場への展開を検討していく。災害時や緊急時に情報提供する仕組みなども模索していく考えだ。

横浜合材工場内で Wi-Fiサービス

NIPPO

NIPPOは、19日から横浜合材工場（横浜市磯子区）の敷地内で、アスファルト合材の引き取りや廃材処分のために合材工場を訪れるダン

トラック運転手向けの無料Wi-Fiサービスの提供を始めた。当面は同工場の営業時間、対応商品案内やPR・告知情報のほか、天気予報、ニュース、交通情報などの有益な情報を発信し、顧客満足度の向上を目指す。同工場での活用状況を



踏まえ、全国の工場への拡大展開も検討していく。

武石英人工場長は「NIPPOのオンラインワンサービスとして物理的なものだけでなく、情報という付加価値を加えることにした」と無料Wi-Fiサービスの提供の目的を説明する。

待機時間は長い場合で1時間に及ぶこともあり、運転手が自身のスマートフォンなどでインターネットにアクセスして順番待ちしているケースが多いことに着眼した。

接続すると初期画面で「NIPPOかわらばん」が表示され、初期登録後にそのま

な情報へアクセスできる。Wi-Fi導入に当たっては、多数のホテルやマンション、東京・浅草の仲見世商店街などで提供実績がある、ファイバーゲート（東京都港区）のシステムを活用している。